

# 俳句を味わう②

金剛の 露ひとつぶや 石の上

川端茅舎

石の上にある一粒の露がまるで金剛石のように輝いている

季語

季節

句切れ

切れ字

技法

冬菊の まとふはおのが ひかりのみ 水原秋櫻子

冬菊は冬の日を浴びて自分で放つ光のみをまとっている。

季語

季節

句切れ

切れ字

流れゆく 大根の葉の 早さかな 高浜虚子

冬の川に、大根の葉がすごい速さで流されていった

季語

季節

句切れ

切れ字

咳をしても一人

尾崎放哉

せきをしても心配してくれる人もおらず一人で孤独だなあ

季語

季節

句切れ

切れ字

技法